



「L-Share 可搬型画像サーバセット」を兵庫県災害医療センター様へ納入

株式会社アイ・エス・ビー(本社:東京都品川区、代表取締役社長:若尾逸雄、以下 アイ・エス・ビー)は、従来より開発を進めてまいりました医用画像ソリューション「L-Share シリーズ」を「L-Share 可搬型画像サーバセット」としてパッケージ化し、この製品を兵庫県による広域医療搬送拠点(SCU)整備の一環として兵庫県災害医療センター様に「広域医療搬送拠点用 X 線撮影装置」の付属機器として納入しました。

●「L-Share 可搬型画像サーバセット」について

従来「災害派遣医療チーム」向けポータブル医療機器では、画像ビューイングや画像ストレージをノートパソコンで実施しており、可搬性・機動性に課題がありました。

「Small Medical Solution」のコンセプトで開発を行ってきた「L-Share」は、画像ビューイングや画像ストレージ等をタブレット端末や組み込み機器で実現しているため、これらを組み合わせることによりコンパクトで可搬性・機動性に優れた「L-Share 可搬型画像サーバセット」を実現しました。

【内容】

- ① L-Share pPACS(ポケット PACS:可搬型 PACS サーバ)
- ② L-Share Viewer(iPAD Air×3)
- ③ L-Share TimeServer(可搬型画像サーバセット内タイムサーバ)
- ④ Canon SELPHY(プリンター)
- ⑤ 無線 LAN AP
- ⑥ モバイルバッテリー
- ⑦ アタッシュケース



L-Share 可搬型画像サーバセット

今回「L-Share 可搬型画像サーバセット」は、「ポータブル X 線デジタル撮影システム」と接続して使用され、X 線装置で撮影された画像を DICOM 通信で L-Share pPACS へストレージします。

「災害派遣医療チーム」はストレージされた画像を L-ShareViewer で参照し、モバイルプリンタで画像出力を行い病院へ搬送指示等を実施します。

●今後の展開

(株)アイ・エス・ビーは THE ISB WAY のミッションである「よりよい ICT 社会を実現するチーム ISB」に基づき、「L-Share 可搬型画像サーバセット」を各地の災害医療病院や在宅向け、その他ポータブル医療機器の利用シーンに対して積極的に提案を行い社会貢献に努めてまいります。また、今後も L-Share シリーズのラインナップを拡充し、本製品の適用業務範囲拡大を目指します。

●展示会への出展情報

「L-Share 可搬型画像サーバセット」を構成する「L-Share」他、「Small Medical Solution」を東京ビックサイトで実施される下記展示会へ出展いたします。

－ 2015 年 7 月 15 日(水)～17 日(金) 『国際モダンホスピタルショウ 2015』

* PACS(Picture Archiving and Communication System) : 医療用画像管理システム

* DICOM(Digital Imaging and Communications in Medicine) : 医療用デジタル画像と通信に関する標準規格

* L-Share 関連製品は医療機器ではありません。

* L-Share は(株)アイ・エス・ビーの登録商標です。

弊社が展開します「Small Medical Solution」の詳細については以下の HP をご覧ください。

http://www.isb.co.jp/product/images/l-share_pamphlet.pdf

◆本記事に対するお問い合わせ先:

(株)アイ・エス・ビー 我孫子システム部

TEL 04-7185-3800(代)、FAX 04-7185-1433

E-Mail: proservices@isb.co.jp

Web: <http://www.isb.co.jp/>

※その他の会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。

※記載された内容は 2015 年 5 月現在のものです。

記事の掲載をご検討頂ければ幸いです。